

平成 31 年 1 月 1 日号

消費生活 Q&A

Q 調理中の「着衣着火」の事故が多いと聞きました。どのようなことに注意すればよいですか。

A 調理中に袖口にコンロの火が服に燃え移るなどのことを「着衣着火」と言います。消防庁の資料によると 2016 年には全国で 81 人の方が亡くなり、その 7 割が 65 歳以上という統計が出ています。

- ・首のスカーフがコンロに垂れ下がり火が付いた。
- ・やかんを火にかけ、奥のコンロの鍋に手を伸ばした際に服の腕部分が燃え上がった。
- ・調理中、換気をしようと窓に手を伸ばした際、ニットの腹部が燃えた。

などの事例が報告されています。

調理などガスコンロを使う際は、マフラーやストール類を外し、裾や袖が広がっている服は特に注意すること、最近では防災のエプロンやアームカバーも販売されています。もし着衣に火がついてしまった場合は『すぐに脱ぐ』『たたく』『水をかける』など、落ち着いて消火してください。

問合せ・・・消費生活センター ☎ (4 2 2) 2 1 5 5